

1. 背景と目的

本編 p.1

生涯にわたる学びを支える「**知の拠点**」としての役割の充実、
人と本が出会い、情報を得ることができ、人が集い、人と人がつながり、新たな交流が生まれる場所
 としての図書館づくりを目指します



2. 現状

本編 p.2

市内全域できめ細かなサービスを展開

- 中核機能を担う中央図書館
- 地域のキーステーション：公民館図書室（9室）
- 地域のサービスポイント：公民館（5館）、愛甲石田駅連絡所
- 身近なサービスポイント：移動図書館「わかあゆ号」（22か所）

半数の市民が利用

- 登録率：約 47%（H27 年度）
- 貸出冊数：1,163,878 冊
貸出者数：358,668 人（H27 年度）
- 中央図書館：30 代以降の利用が多い
- 公民館図書室：子育て世代の利用が多い



駅前に立地する中央図書館

- 乗降客数 15 万人の本厚木駅、厚木バスセンターなどの公共交通機関が立地
- 中心市街地内に位置し、近隣にはアミューあつぎなどの公共施設が立地
- 近隣自治体在住者の登録も多い(約 26%)

3. 市民ニーズ

本編 p.9

1 市民アンケート (該当項目から抜粋)

市民アンケート調査：平成 28 年 8 月実施／無作為抽出した市民 2,000 人が対象/531 票回収
 市民ワークショップ：平成 28 年 9 月 17 日実施／21 人参加



2 市民ワークショップ (新たな中央図書館に必要なヒト・モノ・コトについてのグループディスカッションで挙げられた意見から抜粋)

- | 子ども | 交流機能 | その他 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 幼児がのびのび楽しめる ● 中学生・高校生の居場所 | <ul style="list-style-type: none"> ● アクティブシニアの相互啓発、交流 ● 子ども同士で気軽に集える | <ul style="list-style-type: none"> ● 通勤・通学者への対応 ● 障がい者への配慮 |

4. 未来につながるネクスト厚木ライブラリー

本編 p.16

資料の充実 市民ニーズの多様化・情報化への対応



- 紙 × 電子媒体
- 暮らしや仕事の情報提供
- 利用者の年代・特性に応じたサービス

発見や出会い 居場所の創出

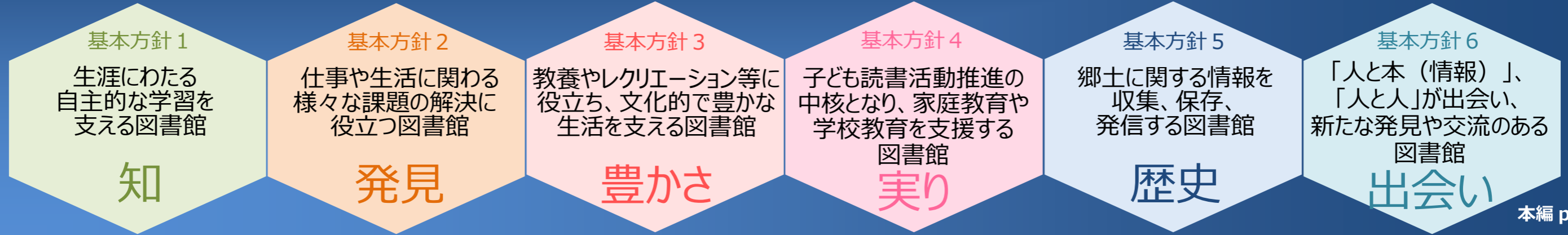
- (仮称)こども未来館との融合
- 通勤・通学者のサードプレイス
- 開館時間の拡大
- アミューあつぎなど公共施設との連携



施設の機能アップ

- 快適な読書スペース
- 多世代のくつろぎ・交流スペース
- ICT設備の拡充
- ユニバーサルデザイン
- 中央図書館の中核機能の拡充

基本理念：市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点



本編 p.19



新たな中央図書館が目指すもの 本編 p.24

